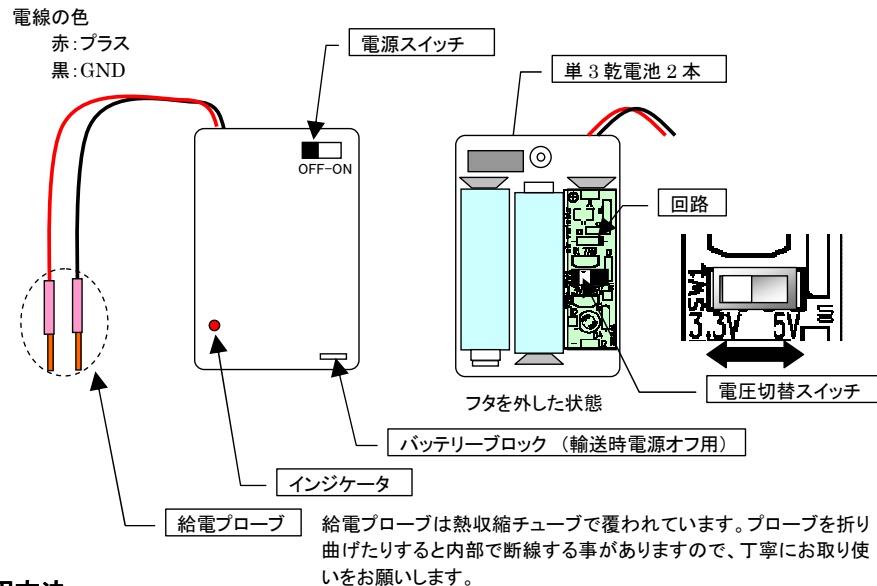
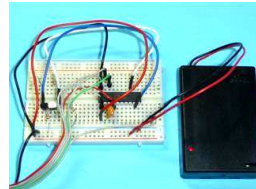


乾電池式定電圧電源 取扱説明書

特徴

この装置は、電池で動作する 3.3V と 5V を切り替え出力できる手軽で小さな電源装置です。思い立った時、ブレッドボードで簡単に回路を作り上げ、すぐに電源を供給する事ができます。

各部分の名称



使用方法

1. 電圧切り替えスイッチを使用する方向へ操作します。(電源投入後に切り替えもできます)
2. 給電プローブをブレッドボードなどのターゲットへ接続します。
3. 電線の色を確認後、電源スイッチを ON にします。

動作しない場合

- ・ インジケータが点灯していない→電源がショートしていないか確認して下さい。
- ・ 電源電圧が低い→負荷がかかりすぎている場合があります。
- ・ 電池残量が少ない→電池を交換して下さい。
- ・ 電圧が出ない→プローブをテスターで電圧が出ているか確認して下さい。

仕様

最大出力 5V 200mA 以上、もしくは 3.3V 200mA 以上 ※但し連続で使用する場合は 100mA 程度
使用電池 単三型乾電池 (Size AA) 2 本 (アルカリ、もしくはニッケル水素電池)

給電電線長 約 18 センチ

本体大きさ 70x48x20mm ※突起物込

重量 82g 以下 ※電池込、23g 以下 ※電池なし

回路構成 HT7750A/HT7733A ショットキーバリアダイオード 1S4、ポリスイッチ 250mA

ポリスイッチは出力側に実装されています。

消費電力 最大出力時 0.5W

使用上のご注意

- ・ この装置は、電子回路工作の経験のある方を対象にしております。
- ・ 電源を入れたまま放置しないで下さい。
- ・ 燃えやすい所で実験を行わないで下さい。
- ・ 煙などが出たら、直ちに電源をお切りください。
- ・ 給電プローブ部分は断線しやすいので、取り扱いにご注意下さい。
- ・ ショート保護回路が備わっていますが、長時間ショートさせないで下さい。
- ・ 逆極性での接続は、ターゲットを壊す恐れがあります。
- ・ 外部から給電プローブへ電圧が掛からないようにして下さい。特に逆極性は故障しますのでご注意ください。

その他

- ・ インジケータ部分の穴は覗き穴になっているため、LED の位置と多少違う場合があります。
- ・ 電流の量によってはコイル鳴きを生じる場合があります。(外付けコンデンサで多少緩和します)
- ・ スイッチング電源方式の為、数 100 ミリボルト程度のリップルが出ます。
- ・ 給電プローブがショートしたとき、インジケータが消灯し、暫くすると点灯しますが、内部電圧が復帰したものであり、給電プローブから電圧が出ていない場合があります。1 分ほど電源を切ってからご使用下さい。
- ・ 初期不良の保証は商品到着から 2 週間とさせていただきます。
- ・ 給電プローブが断線した場合は、ご自身にて修理されるか、有償修理とさせていただきます。メールでご連絡下さい。
- ・ 万一内容物に不備がありましたら、お手数ですがメールにてご連絡下さい。
- ・ 製品が到着したら、最初にバッテリーブロックに挿入されているリボンを抜き取ります。(輸送中に電源が入らないようにする対策ですので、リボンは捨てて OK です。)



乾電池式定電圧電源 取扱説明書
air_variable
2012/12/16 version 1.4
<http://www.ne.jp/asahi/air/variable/>
<http://airvariable.asablo.jp>
連絡先 air_variable_1215@yahoo.co.jp